

平成26年6月24日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成26年度 第1回 地域経済活性化部会

◆ 6月24日(火)、美しい多摩川フォーラムの平成26年 第1回 地域経済活性化部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成26年6月24日(火) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：会長(部会長)、副部会長、運営委員、アドバイザー、会員等

### ◎ 地域経済活性化部会の概要

1. 開会
2. 部会長挨拶
3. 講話(40分)  
(テーマ)「経済算術」で多摩の明日を見る  
(講師)細野 助博 様(中央大学大学院公共政策研究科委員長)
4. 経過報告 ※はビデオ放映
  - (1) 平成26年度事業計画・同予算&実施内容【資料1】
  - (2) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料2】
    - ①4/4：羽村・福生・昭島の「駅からハイキング」～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール ※
    - ②4/9：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守 ※
    - ③4/16：あきる野の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、大谷桜守
  - (3) 美しい多摩川フォト教室開催(4/12)【資料3】
  - (4) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業(東北・夢の桜街道推進協議会)【資料4】  
5/1：第3回“美しき桜心の物語”の語り会(五十九番・盛岡城跡公園、岩手県盛岡市民文化ホール～語り部・平野啓子副会長) ※
  - (5) 平成26年度総会開催(5/25)
  - (6) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施(5/29～6/25)【資料5】
  - (7) 第7回多摩川一斉水質調査実施(6/22)

- (8) 多摩川“水”大学講座 (5/23、6/20) 【資料6】
- (9) 多摩川酒蔵街道の進捗状況について
- (10) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅) 下刈りイベント (6/28)
- (11) 多摩川っ子 (第7号) 発行 (7月中旬)
- (12) 狛江古代カップ第24回多摩川いかだレース参加 (7/13) 【資料7】
- (13) 多摩川“水”大学講座 (7/18、9/19)
- (14) 第7回子どもカヤック体験教室開催 (7/19) 【資料8】
- (15) 多摩川1万人の清掃大会参加 (8/3)
- (16) 第6回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/22) 【資料9】
- (17) 第2回大人のカヤック体験教室 (8/30) 【資料10】

#### 5. 意見交換

- (1) 平成26年度活動計画等について 【資料1】
- (2) その他

#### 6. 部会長総括

#### 7. 閉会

### 1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成26年度第1回地域経済活性化部会を始めさせていただきます。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

(稲城市 都市建設部 土木課 主事 岡 愛海 様)

岡と申します。本日初めて参加させていただきます。余り分かっていない部分が多々あると思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

(立川市 総合政策部 企画政策課 主任 横溝 大樹 様)

横溝と申します。今まで、立川市として余り参加できず、申し訳なかったのですが、今後ともよろしくお願いいたします。

(日の出町 産業観光課 商工観光係 観光担当係長 及川 純一 様)

及川と申します。この会には初めての参加ですが、よろしくお願いいたします。

(個人会員 軸丸 幸彦 様)

軸丸と申します。私は、コニカミノルタ株式会社OBで、3年前まで嘱託で工業会関係の業務をしておりました。その中で、特に国際部会と法規安全部会の部会長と副

部会長をやっており、国際医療機器法についての調査、医療機器の環境対応についての仕事、また、国内の法規安全部会では、薬事法改正について、行政と取り組んでまいりました。嘱託を離れ、今はのんびりとしていますが、つい先日、事務局の荻野さんから、この会があることを教えてもらい、参加しました。どうぞよろしくお願いいたします。

## 2. 部会長挨拶

(細野部会長)

平成26年度第1回地域経済活性化部会でございます。お忙しい中、有り難うございます。3つの部会がありますが、一番事業をたくさん抱えているのは、恐らくこの部会ではないかと思えます。旗艦的な部会ですので、皆様のアイデアやご意見を真摯に聞いて、次のステップに進みたいと思えますので、よろしくお願いいたします。

## 3. 講 話

(事務局)

今日は、経済学者で公共政策論、都市政策論等がご専門の中央大学大学院公共政策研究科委員長の細野会長から特別にお話をお伺いしますので、多摩地域の現状認識や問題意識を高めていただけたら有り難いと存じます。このたび、日本計画行政学会の会長に就任されました。それでは、前方のスクリーンにパワーポイントの画像が映し出されますので、ご参照ください。それでは、細野会長、よろしくお願いいたします。

(細野会長)

30分ほどお時間をいただき、皆さんと一緒に「多摩の明日」について考えてみたいと思えます。ご承知のように、日本全体の人口は減っていますが、今まで、首都圏の人口は例外的に増えていました。しかし、ここに来て、多摩地区は23区よりも6～7年早く減少が始まっています。多摩地区は、26市+4町村で構成されていますが、今後もこのままであるかは分かりません。各行政さんは、多摩地域の他の市町村から転入があれば「ばんざーい！」と喜び、転出があれば「どうしよう・・・。」と思っていられっやと思えますが、そういうことは止めて、多摩をひとつとして捉え、どんな魅力があるか、「ALL TAMA」として考えていってほしいと思えます。今日は、経済のデータを持ってきました。それを足したり割り算したりして、明日を考えて行こうと思えます。

まず、写真をご覧ください。一番左は立川です。2番目は吉祥寺です。3番目は成瀬付近の郊外住宅地です。次は青梅、次は調布、次は多摩センター、次は紅葉を迎えた高尾山、次は福生の酒造、そして最後は横田基地です。私はこれら全

てを宝だと思っています。先日、「東京が世界一魅力的である50の理由」が発表されましたが、皆さんは分かりますか？一番目は、鉄道です。2～3分遅れただけで「申し訳ございません」とアナウンスが流れるのは、日本だけです。海外は30分遅れても何とも思いませんから。その50の中に、高尾山が2つ入っています。ひとつは、都心から1時間で登山が出来るということ。もうひとつは、美味しい精進料理が食べられるということです。多摩全域を考えると、沢山の宝があります。それを小出しにせずに、「ALL TAMA」でやったらどうかと思っています。私が今日言いたいのは、東京オリンピックは、23区だけではなく、多摩地域でも競技を開催してほしいということです。横田基地については、賛否両論ありますが、私は昔から「下駄を履いてハワイに行こう」と、石川酒造の先代、弥八郎さんと言いつけていました。オリンピックの時、飛行機をチャーター便で飛ばし、「首都圏の重要な旅客基地として使わなければならない」と訴え、実現したいと思っています。反対の方もいらっしゃるかもしれませんが、私は賛成です。

## ■第1章「多摩から居住シフト」

### ○人口からみたTAMA県の実力

これから、多摩をひとつの県として考えてみます。多摩が23区から独立したら、どれくらいの実力を持つかを考えてみたいと思います。まずは人口です。「TAMA県」の人口は約400万人で、全国で10番目の県になります。大きいです。次は転入を考えてみましょう。「TAMA県」の転入は、全国で8番目です。人口は正直です。魅力のある県がどんどん増えていきます。魅力のある県とは、食がいっぱいある、都市的なサービスが充実している、教育が充実している県です。「TAMA県」は、それらにおいて、8番目に魅力があるということです。人口で見ると10番目なのに、転入で見ると8番目だということです。次に昼間の人口ですが、「TAMA県」は11番目です。例えば千代田区は、昼間の人口が約80万人ですが、夜の人口は4万人未満です。ですから、「TAMA県」の実力は凄いのです。

年齢人口によって、定住意識は違います。多摩の人たちが20～30代の人達を呼ぶためにはどうするかというと、「都心部へのアクセス」をちゃんとしなければなりません。所得が上がると、失われる時間の価値が上がります。どんなものでも、お金と時間を使います。お金も時間も使うのは、キャバレーかもしれませんし、時間を使ってお金を使わないのは、勉強かもしれません。しかし、一番損だと思うのは、勤務先への通勤時間なのです。今は共働きが多くなりました。奥さんが専業主婦で、旦那さんだけが都心に行くことについては、1時間半くらい何とも思わないのです。どこに住むか、奥さんが決めることが多いのですから。

専業主婦の場合、都心から1時間半のところに家を建てても何ともありませんでしたが、共働きになると、奥さんは勤務先から30分程度のところに住みたいと考えるようになるのです。すると、どんどん人口が都心に移っていきます。2人で稼ぐので、収入が増えます。収入が増えると、時間ももったいない、有益に使いたいと思うようになります。通勤時間を削って自己啓発にお金を使うようになると、郊外はどうしても不利になります。

#### ○郊外化の終焉（転入出率23区との比較）

1998年に、転入転出率が区部と多摩で同じになりました。それまでは、郊外に人がやってきていました。ところが1998年を境に逆転し、多摩は負けています。すると、区部と多摩で人口の取り合いになります。2001年までは、23区より市のほうが勝っていました。2001年から雲行きが怪しくなり、2005年に関ヶ原がやってきて、完全に負けました。都心回帰となるのです。

#### ○ワカモノの都心回帰

もっと気がかりなのは、若者の都心回帰が進んでいることです。赤い線を中心として下振れしていますが、これは、若い人たちが都心に住み始め、若い人たちの年齢構成比は、多摩よりも23区のほうが増えているということを意味しています。

#### ○団塊ジュニア世代の市町村別人口規模とその比率

この画面は、23区と30市町村の人口規模を丸の大きさと表現しています。八王子や町田、世田谷は大きいです。しかし、問題は、丸の大きさよりも色です。色の意味は、全人口に占める団塊ジュニアの人口構成比、つまり、今子育てをしてくれる、これから所得税を払ってくれる人たちがどれくらい住んでいるかということです。色の濃い丸は、23区に移っています。先ほども申し上げましたが、共働きが一般化してくると、家計としての収入が増え、犠牲にする時間をなるべく少なくしたいと考え、通勤時間を減らせる都心に住むようになります。ですから、多摩は、勤め先をどんどん持ってこなければならぬのです。

#### ○都心と郊外の公示地価の推移

次の画面は、「都心と郊外の公示地価の推移」をグラフ化しています。バブルの頃は区都住宅と多摩住宅で大きな差がありましたが、今はそれほど差がありません。同じマンションの面積でも、都心と比べると、500万～1000万円の差です。2人で働くので、500万～1000万円の差は大したことがないので、都心の方に住んでしまいます。1世帯当たりの子どもの数も少なくなりました。

子ども部屋としてもう1部屋欲しいとなれば郊外一戸建てとなりますが、共働きで子どもが1人、十分な教育を、ということになると、都心回帰となります。

#### ○都心からの距離が決定打

住宅地について、かつて稲城市は、立川市と同じように地価が高いほうでした。しかし最近では、多摩市や町田市と同じくらいになってしまいました。代わって、東久留米市が立川と同じくらいになりました。相変わらず都心の人気は高く、赤い部分が増えています。都心に大規模マンションができ、少しお金があると、若い人たちはそちらに移って行ってしまいます。

#### ○都心からの距離+アルファ？

しかし、商業地についてはそうではなく、郊外でも地価が高い部分があります。これは、大型のショッピングセンターが郊外に出来ていますから、その分商業地の地価が上がることはあります。人口密度で見ると、23区を4とすると、多摩が1となります。23区は人口が多摩の2倍で、多摩は、面積が23区の2倍です。多摩の人口密度は、23区の1/4となります。商店街は、人口密度が高いほど生き残れますので、人口密度が低ければ生き残れません。では、どういう形で商業が成り立つかと言えば、大型店です。郊外では、車に依存しないと商業が成り立ちません。大型店は、郊外の土地を求めてやってくるので、住宅地ほど地価が下がらないのです。

### ■第2章「多摩からワークシフト」

#### ○ビジネスから見たTAMA県の実力

第2章に入ります。ビジネスから見たTAMA県の実力は、就業者数は全国で10番目、預金残高は12番目、民営事業所数は12番目です。まだまだです。12番目ではなく、8番目くらいを目指さないといけません。昔、多摩ニュータウンを建設した時、「新住法（新住宅市街地開法）」が邪魔しました。「ベッドタウンを作るのだから土地があっても事業所はまかりならん」と、馬鹿なことをやりました。多摩は物づくりの街なのかというと、残念ながら23番目です。土地はまだまだあるのですが、課題が多いということです。では、なぜ23番目なのでしょう。

#### ○構成比での23区との対比

構成比で見ると、多摩は23区とほぼ同じです。唯一違うのは、農林水産業くらいです。多摩の独自性は無いのです。要するに、23区を小さくしたのが多摩で、これでは駄目なのです。多摩独自の産業構造をどうするか考えなければなり

ません。今まで土地が余っていましたので、日野や府中などに大規模な工業団地や工場を沢山作ってきましたが、グローバル化や住宅地の増加に伴い、工場の拡張ができない、騒音がうるさい、工場を海外に移転したほうが良いなどの問題が出て、工場が撤退することになります。では、どうしたら良いのでしょうか。

#### ○多摩だからこそ「6次産業」化を考える

①農業×②工業×③サービス業＝6次産業を考えましょう。小澤酒造さんが、ままごと屋と酒屋をやっているようなことです。それに観光を結びつけ、近くにホテルや温泉があるともっと良いかもしれません。東京都の6割の農地が多摩にあるので、それを使わない手はありません。何度も言いますが、区部と市部での産業構造の違いは余りありません。レーダーチャートで見ても、違いはありません。これを「アホ」と言います。多摩は、産業構造の「アホ」から脱却しなければなりません。特化係数で強調してみましたが、やはり農林業が特出しています。多摩は若い人が多いので、塾や学習支援も良いのですが、それだけでは駄目です。若い人たちは段々都心に移っていきますから。他に目立っているのは、医療・福祉くらいで、これではお粗末です。今、各市で事業所が3000以上の市を取りました。事業所が沢山ある市において、それぞれの市でもっとも比率が高いものを赤字にしました。各市は、隣の市と戦うのではなく、自分の市の強みをより一層強化しなければなりません。立川市は商業、八王子市は製造業というように、各市が強みを補完することが大事です。

#### ○23区のスカイライン

どの産業が主軸になっているかを表しているのが横軸です。縦軸は成長率・将来性です。良いのは金融・保険、不動産です。23区も寂しい限りです。では多摩を見てみましょう。

#### ○多摩のスカイライン

卸売・小売の構成比は高く、将来性はありませんが、不動産の構成比も高いです。産業構造としては、23区のミニ版になっています。これを早く変えるためには、事業所の沢山ある市が、No. 1になるために伸ばしていかなければならないのです。では多摩は、希望がないのでしょうか。

### ■第3章「希望の多摩」

#### ○大学の集積度から見たTAMA県の実力

これから手前味噌の話をします。大学数は全国で4位、学生数は全国で5位です。この強みを活かしていかなければなりません。NPO数は第8位です。ビジ

ネスばかりではなく、社会的なことを考える当フォーラムもそうですが、こういったものをもっともっと多摩の魅力作りの柱になっていかなければなりません。

#### ○ネットワーク多摩とは

これは当フォーラムのライバルではありません。大学の連携組織です。先日、公益社団法人になり、設立12年目を迎えました。

#### ○82の大学・短大のキャンパスが集積したはずだが・・・

かつて、82のキャンパスがありましたが、大学も都心回帰しています。私の先輩からも「なんで多摩なんだ」と、毎回評議委員会で文句を言われていますが、実は多摩は魅力的だということを、もっともっと声を高くして言わなければならないかもしれません。そうでないと、「偏差値が下がるのは郊外に来たからだ」と言い訳し、大学の先生が努力しないかもしれませんので。

#### ○環境も子どもも多摩の宝

環境も子どもも多摩の宝です。そういった活動をネットワーク多摩でもやっていますが、環境教育については、多摩川フォーラムのほうが進んでいます。

#### ○「まちづくり」は人づくり

「まちづくり」もやっています。今年、ネットワーク多摩では「まちづくり政策コンペ」を開催します。各市との連携で、まちづくりをしている学生たちの発表を行います。この「まちづくり」では、街の人たちが学生たちを育ててくれます。そうすると、就職活動も上手く行き、4月くらいには皆就職先が決まりました。こういった成功事例を多摩の大学から沢山発信してもらい、「多摩は学生たちによって甦る」ことをメッセージにできれば良いと思います。

#### ○おわりに

当フォーラムもそうですが、産官学の連携で都市間競争に勝っていきたいです。都市間競争は、多摩で競争することではありません。23区と競争しなければなりません。東京オリンピックは国際化のチャンスですので、横田からチャーターを飛ばし、それほどお金持ちではない国に大学を開放し、23区だけがオリンピックをやるのではないようにしたいと思います。多摩は、これからインターナショナルになるチャンスだと思っています。ラストチャンスかもしれません。また、超高齢化社会を活かすのは6次産業です。6次産業のひとつのプラットフォームを作る団体として、当フォーラムを改めて位置付けていければと思います。これで私の話を終わります。



(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(藤井様)

私が住んでいる大田区から見た多摩地区を簡単に述べます。重要なのは交通網です。JR東日本では、羽田空港から東京駅まで、新幹線を導入します。また、JR品川と田町の間にも新駅ができます。上野～東大本郷～神田界限～秋葉原を循環する路面電車構想もあります。北陸新幹線は、東京～金沢まで開通しました。多摩地区はどうかというと、リニア新幹線では、品川の次の駅として、橋本に駅が出来ます。将来、関西方面の人が多摩地区に来る際は、橋本駅を利用し、そこから八王子や横浜に行けるようになります。多摩地区には、こういった交通網の整備が必要だと思います。また、多摩地区には全長93kmのモノレール構想があります。現在は15kmしか開通していません。計画では、上北台～箱根ヶ崎が来年着工の予定ですが、遅れています。それより先に町田が動いているので、多摩センター～町田が先に延伸するかもしれません。多摩地区の活性化のためには、車社会よりも交通網の整備が必要だと思います。観光産業にとっても重要です。費用がかかるのであれば、路面電車を走らせれば良いと思います。これらの交通網が整備されれば、多摩地区は23区に負けない経済地区になると思います。

(事務局)

他にご質問等ございませんか。ないようでしたら、細野会長に今一度拍手をお願いします。細野会長、有り難うございました。

#### 4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(2)番の①、②と(4)番をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

#### (2) 多摩川夢の桜街道～桜の札所巡り事業【資料2】

①4/4：羽村・福生・昭島の「駅からハイキング」～美しい多摩川フォーラム、JR東日本、西武鉄道、多摩モノレール ※

②4/9：高尾・多摩森林科学園の桜ウォーキング～美しい多摩川フォーラム、  
京王電鉄、リビング多摩、大谷桜守 ※

③4/16：あきる野の桜の札所巡り～美しい多摩川フォーラム、リビング多摩、  
大谷桜守

本日は、多摩森林科学園の吉丸園長にご出席いただいておりますので、一言お願いいたします。

(吉丸運営委員)

先ほどは、ビデオでもご紹介いただき有り難うございます。昨年も大谷桜守にガイドをしていただくウォーキングを開催しましたが、今年は、ウォーキングの前に私のほうから講座を行いました。当園には、色々な種類の桜があるだけではなく、日本の歴史の一部もご紹介できて良かったと思います。将来的には、多摩地区の特徴のひとつとして、日本で一番多くの種類の桜を見られる場所として整備していきたいと思っております。

(事務局)

有り難うございました。なお、例年4月に開催していた、語り部・平野啓子さんによる「桜の語り会」については、来年3月22日、府中市の大國魂神社にて開催する予定です。近づきましたら改めてご案内させていただきます。

### (3) 美しい多摩川フォト教室開催 (4/12) 【資料3】

- ・ 【資料3】をご覧ください。今年度新規事業として開催したところ、22名の熱心な受講生が集まり、先生から個別に実写のアドバイスを受けながら、分からないことはその場で質問できるなど、受講生の皆さんは大変満足された様子でした。来年度につきましても、受講生の声等を踏まえ、継続事業として検討していきたいと存じます。

### (4) 東北・夢の桜街道～桜の札所巡り事業 (東北・夢の桜街道推進協議会) 【資料4】

5/1：第3回“美しき桜心の物語”の語り会 (五十九番・盛岡城跡公園、岩手県盛岡市民文化ホール～語り部・平野啓子副会長)

- ・ 【資料4】をご覧ください。岩手県盛岡市での桜の語り会に参加されてのご感想、補足説明等ございましたら、細野会長、よろしく申し上げます。

(細野会長)

平野さんの恒例の演目です。私も何回か聞いているので、飽きるかなと思いました

ら、場所が違くと雰囲気も違うので、飽きませんでした。さすがはプロだなと思いました。

#### (6) 東急百貨店「ココエコチャリティー」実施 (5/29～)【資料5】

- ・ 【資料5】をご覧ください。ご覧のとおり、東急百貨店ホームページのトップページに紹介されており、今年は5月29日より、東急百貨店本店など9店舗において、ココからはじめる身近なエコ「ココエコ・チャリティー」イベントが開催され、今年もオリジナル・チャリティーグッズが販売されています。今回は、東北のスギ間伐材で制作され、アーティスト倉木麻衣さんデザインの「My マーカー」(ブルー、ピンク、グリーン)で、価格は各色300円(税込)です。本日、サンプルをお持ちしましたのでどうぞご覧くださいませ。これは、東急百貨店のCSRの一環として企画されたもので、今年で5回目となります。環境活動に積極的に取り組んでいる団体として「美しい多摩川フォーラム」に売上金の一部を寄付し、多摩川流域周辺の環境保全活動に貢献しようというものです。美しい多摩川フォーラムでは、いただいた寄付金を、「多摩川一斉水質調査」などの活動に役立てていきます。なお、7月下旬まで、販売しておりますので、皆さん、ぜひお早めに、お買い求めいただき、フォーラムに還元していただければ幸いです。

#### (7) 第7回多摩川一斉水質調査実施 (6/22)

- ・ 第7回目となる多摩川一斉水質調査ですが、実施予定日の6月8日が悪天候だったため延期し、6月22日に実施しました。今回も、上流の山梨県丹波山村から最下流の河口の0キロポストまで多摩川水系の流域75地点の調査を実施しました。調査に当たっては、渡邊環境清流部会長をはじめ、山崎運営委員、奥山アドバイザーにも、採水のご協力・ご指導をいただきました。前回の調査から、とうきゅう環境財団の助成金を得て新たに調査項目に加えた電気伝導率や、生活排水に多く含まれる硝酸態窒素、リン酸態リンを電気伝導率計測器等を使って調査しています。現在、事務局では、直接採水した75地点の速報レポートを作成中で、近日中に当フォーラム・公式ホームページ上に掲載する予定です。因みに、詳細な調査結果レポートについては、例年どおり11月に発行する予定です。なお、多摩川一斉水質調査等の活動をPRするため、6月7日に美しい多摩川フォーラムとして今年も出展する予定であった、第42回調布市環境フェアについては、悪天候により中止となりましたことをご報告いたします。多摩川一斉水質調査につきまして、渡邊環境清流部会長よりひと言お願いいたします。

(渡邊部会長)

6月8日は雨が強かったので延期とし、22日に実施しました。今年の梅雨は雨量

が多く、採水も苦勞されたかと思いますが、有り難うございました。75地点の調査も無事終了しましたので、結果が出ましたら改めてご報告させていただきます。

**(8) 多摩川“水”大学講座 (5/23、6/20) 【資料6】**

- ・ 【資料6】をご覧ください。今年度は立川市との共催のもと、5月23日に開講しました。3年目となるこの講座を開講するに当たり、過去2年間の資料を小冊子に纏め、テキストとして作成しました。講師には引き続き、小倉副会長を迎え、この講座を通じて、水環境に関するリーダーの養成を目指します。

**(9) 多摩川酒蔵街道の進捗状況について**

- ・ 多摩川酒蔵街道については、本年2月にワーキング・グループを立ち上げ、11月オープンを目指し、検討を進めております。現在、座長でもある小澤酒造取締役社長の小澤運営委員、旅行会社のはとバスさん等と、内容について最終的な調整を行っており、8月末頃には、多摩川酒蔵街道の対外公表を予定しています。

**(10) 美しい多摩川フォーラムの森 (青梅) 下刈りイベント (6/28)**

- ・ 青梅市立西中学生を対象に、今年も、美しい多摩川フォーラムの森 (青梅) において、下刈りイベントを6月28日に開催します。

**(11) 多摩川っ子 (第7号) 発行 (7月中旬)**

- ・ 今回で第7号になりますが、今年も7月中旬の発行を目指して現在編集中です。夏休み前に多摩川流域の小・中学校をはじめ、教育関係者に配布し、子どもたちにご案内する予定です。

**(12) 狛江古代カップ第24回多摩川いかだレース参加 (7/13) 【資料7】**

- ・ 【資料7】をご覧ください。今年も当フォーラムよりダニエル・カール副会長、狛江市長ほか市職員、フォーラム事務局が乗り込み、出艇します。皆さん、ぜひ、会場に足を運んで、応援をよろしくお願いします。

**(14) 第7回子どもカヤック体験教室開催 (7/19) 【資料8】**

- ・ 【資料8】をご覧ください。今年は7月19日(土)に、青梅市カヌー協会のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。

**(16) 第6回炭焼き体験と水辺の交流会開催 (8/22) 【資料9】**

- ・ 【資料9】をご覧ください。今年は8月22日(金)に奥多摩漁業協同組合のご協力のもと、青梅市、おうめ水辺の楽校運営協議会と共催します。竹による炭焼き体

験と水辺の安全学習を实践する、親子参加型の交流会を予定しております。

#### (17) 第2回大人のカヤック体験教室(8/30)【資料10】

- ・【資料10】をご覧ください。今年は8月30日(土)に青梅市カヌー協会、サンケイリビング新聞社多摩本部のご協力のもと開催します。昨年に引き続き、リビング多摩の7月19日号または27日号に無料掲載させていただくことになりました。7月28日より募集を開始します。  
経過報告は以上です。細野会長、よろしくお願いたします。

(細野部会長)

事務局からの経過報告で、何かご質問などございますか。ないようですので、意見交換に進めます。

#### 4. 意見交換(部会長)

(細野部会長)

はじめに事務局の方から説明してください。

#### (1) 平成26年度活動計画等について【資料1】

(事務局)

【資料1】をご覧ください。平成26年度事業計画・同予算について、まず、収入の部ですが、会費収入は2,400,000円を見込んでおります。寄付金として、青梅信用金庫様より8,000,000円、青梅市様より委託金として264,400円、とうきゅう環境財団様より助成金として、多摩川一斉水質調査項目拡充について536,500円、同じく多摩の物語について772,000円を予定しております。一方、支出の部ですが、総会等運営費として、4,070,000円、各種活動費として9,448,500円を計上しております。活動費のうち、美しい多摩川フォーラムの森づくりですが、本年2月の大雪の影響で、苗木の雪起こしが必要となったことから、別途費用が発生し、数万円程度上振れする見通しです。

なお、東北・夢の桜街道運動として、2,000,000円を計上しておりますが、これは東北復興支援事業として、東北・夢の桜街道推進協議会に拠出します。この結果、次期繰越金は945,709円となり、合計では、14,464,209円となります。

次ページをご覧ください。3本柱別に主な実施内容を一覧に纏めてみました。平成26年度につきましては、新規事業として、経済で「多摩川酒蔵街道」、教育文化で「美しい多摩川フォト教室」がありますが、基本的には継続事業が中心となります。環境をご覧ください。美しい多摩川クリーンキャンペーンですが、青梅市御岳の会場

に加えて、今年度より、多摩市との連携により多摩川中流域の河川敷での開催を予定しており、目下調整中です。美しい多摩川フォトコンテストですが、今年度より、賞金額を引き下げ、別途副賞を予定しております。また、新たに堤運営委員の協力を得て、ファミリー賞、キッズ賞を新設することといたしました。平成26年度事業計画の趣旨説明ですが、次ページにまとめておりますので、後ほどご覧ください。

(細野部会長)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がございましたら、お願いします。ないようでしたら、次に進めます。その他について、事務局からありますか。

## (2) その他

(事務局)

本日は細野会長からご講話をいただきましたが、次回10月7日の地域経済活性化部会では、元東京都副知事で、現在は明治大学公共政策大学院教授で当フォーラム顧問の青山俊様に講話をいただく予定ですので、ぜひご参加ください。また、7月4日の教育文化・環境清流合同部会では、山崎監事の講話を予定していますので、こちらもよろしく願いいたします。

まだ若干お時間がございますので、感想などをいただければと思います。

(日の出町 及川様)

今回、多摩川フォーラムに初参加させていただき、どんな様子なのか確認することができました。日の出町は直接多摩川に接してはいないのですが、本日のような学習会で、参考になることも多々ありました。

(福田様)

藤井が「多摩の将来は開けている」と言う通り、それになにがしかの力が加えられれば良いと思っています。私は「多摩川でボートを楽しむ会」という立場でお世話になっております。今後、当会が大きくなってきたら、援助をいただきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

(藤井様)

私は大田区の立場で言うておりますので、区内から見ると、多摩地区は眠っているのではないかと思います。しっかりした意思表示をしないと、多摩地区は取り残されてしまいます。当フォーラムには代議士や都議もいらっしゃるのでもっと意思表示をしたほうが良いと思います。こちら側から意見を言っていないと、都も国も動きません。

(公益財団法人 東京都農林水産振興財団 花粉の少ない森づくり運動担当

課長 金子 悦子 様)

私どもは、「美しい多摩川フォーラムの森(青梅)」のお手伝いをしています。今週土曜日にイベントを開催する予定です。今日の会長の講演は、大変興味深く拝聴しました。非常に参考になるので、引き続きこういった企画をお願いいたします。一点ご紹介です。私どもは、「森づくり支援倶楽部」というサポーター制度を運営しており、今回、多摩森林科学園の「森林科学園における桜保存の取り組み」を記事として紹介させていただきました。引き続きよろしくをお願いいたします。

(稲城市 岡 様)

稲城市では、今まで部会等になかなか出席できておりませんでした。久しぶりの出席のため、今日お話を伺った内容を持ち帰り、上司に報告させていただき、今後の活動にお力添えができればと思っております。本日は有り難うございました。

(立川市 横溝 様)

本日は、貴重なご講話をいただき、有り難うございました。新たな「TAMA県」という視点や、「都心へのアクセスがとても重要である」であったり、新幹線・リニアの話等、「なるほど」と思って聴きました。私も多摩地域に住んでおり、立川周辺での活動が主なのですが、「モノレールの構想が進んでいくと、今後どうなるのかな」というような、明るい未来像をなんとなく頭の中に描いて聴きました。都庁はどうしても23区を見るのですが、実は私も「TAMA県庁があったらいいな、あったらどうなるのかな」と思う事があります。そういった視点を持ちながら、多摩地域を盛り上げていきたいと思えます。

## 5. 総括・閉会(部会長)

(細野部会長)

始めに、吉丸園長から多摩の桜について、日本有数であるという魅力をお話いただきました。多摩には沢山の宝があります。それを総合して戦力にしなければなりません。23区に“対する”のではなく、多摩は23区のどういう補完ができるのか、コラボレートできるのかを考えなければなりません。「各々の市が」ではなく、多摩全域として何ができるのか、広域の考え方が必要です。冒頭でも申し上げましたが、地域経済活性化部会は多摩川フォーラムの幹です。この幹がしっかりしないと、多摩川フォーラムの次の発展がありません。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。それでは、平成26年度第1回地域経済活性化部会を終了します。有り難うございました。

以 上